

会 議 録

会議名	令和3年度第2回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和3年9月27日（月）13：30～14：55
開催場所	丸亀市役所3階303・304会議室
出席者	<p>出席委員 松永恭二（市長）、金丸眞明（教育長）、徳永秀文、土方実加、松岡舟、福田康知 （以上敬称略）</p> <p>事務局 市長公室長 山地幸夫 （市長公室秘書政策課）課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、大川智</p> <p>市出席者 教育部長 七座武史 （教育部総務課）課長 吉野隆志、副課長 高倉鋭悟 （教育部学校教育課）課長 菅佳久、副課長 横山友亮 （教育部幼保運営課）課長 黒田千絵 （教育部文化財保存活用課）課長 東信男 （市民生活部生涯学習課）課長 田中壽紀 （市民生活部スポーツ推進課）課長 吉田比夫美 （産業文化部文化課）副課長 石川真司、増田龍一 健康福祉部長 宮本克之 （健康福祉部子育て支援課）課長 好永邦秀、副課長 駒松暁子</p>
議 題	(1) 子どもの貧困対策プロジェクトについて～子ども第三の居場所～【非公開】 (2) 丸亀市教育大綱見直し素案について
傍聴者	0人
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	ただ今から令和3年度第2回丸亀市総合教育会議を開会します。はじめに、松永市長よりごあいさつをお願いします。
松永市長	新型コロナウイルス感染症の第5波により、丸亀市でも多くの感染者が出ていた中、新学期がスタートし、教育委員会や学校関係者の皆さまにおかれましては、大変ご苦勞されたと思います。現在、感染状況も落ち着きを見せてはいますが、油断することなく、感染予防対策を引き続き行ってまいりますので、子どもや保護者などへの指導をよろしくをお願いします。
窪田課長	<p>本日の協議事項は「(1) 子どもの貧困対策プロジェクトについて～子ども第三の居場所～」と「(2) 丸亀市教育大綱見直し素案について」の2件です。</p> <p>なお、本日の会議は議事録作成支援システムを使用し、会議を記録しますので、恐れ入りますが、発言される際には、お手元のハンドマイクを使用し、発言するようお願いいたします。</p>

	<p>それでは会議の進行につきましては、松永市長よりお願いします。</p> <p><議題（１）「子どもの貧困対策プロジェクトについて～子ども第三の居場所～」については、個別施設の名称や場所等に係る内容の公表ができないため非公開></p>
松永市長	<p>次に議題（２）「教育大綱見直し素案について」事務局より説明をお願いします。</p>
窪田課長	<p>教育大綱見直し素案につきましては、事前に資料をお送りし、ご意見をいただきました。本当にありがとうございました。</p> <p>まず、私から今後のスケジュールについてご説明します。本日の総合教育会議では、後ほど担当から説明します見直し素案についてご審議いただき、ご意見を踏まえて教育大綱の解説書の作成を進めさせていただきます。</p> <p>そして、11月15日の総合教育会議において、教育大綱の最終案と解説書をご審議いただいた後、12月の議会への説明、1月のパブリックコメントへと進めさせていただきます。なお、パブリックコメントの結果を受けて、必要な場合は2月の総合教育会議でご報告させていただきます。</p> <p>また、最終的には、丸亀市の意思決定機関であります3月の庁議に付議し、承認をいただきましたら、見直し完了となりますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、皆さまからいただいたご意見の対応案について、担当からご説明させていただきます。</p>
大川	<p><資料に基づいて説明></p>
金丸教育長	<p>施策の方向性1については、「学校・家庭・地域との連携を通し」ではなく、「学校・家庭・地域が連携し」とした方がすっきりして良いのではないのでしょうか。</p> <p>また、施策の方向性8については、「開かれた学校運営のもと、コミュニティ・スクールを進め」ですと落ち着きが悪いので、「開かれた学校運営のもと、コミュニティ・スクールの取組を進め」に修正してはいかがでしょうか。</p>
大川	<p>そのように修正いたします。</p>
徳永委員	<p>基本目標Ⅳ【文化芸術の振興】の「一人一人」についてです。この文言は、教育大綱を策定する際、「一人ひとり」とひらがなになっていたのを、文部科学省などの教育分野で使用している「一人一人」にしてはどうかと提案した記憶があります。福田委員も私と同様に長年教育に携わっていましたので、このようなご意見が出たのではないかと考えています。</p> <p>そこで、今回の見直しにあたり、丸亀市民全体のことを考えると「一人ひとり」とひらがなを使った方が、意思や思いが伝わるのではないかと考えています。他市町や香川県の教育振興計画などを見ますと、「一人ひとり」と表記しているところが多いと感じました。</p>

	<p>また、施策の方向性 17 については、「社会包摂」より「社会的包摂」の方が良いのではと意見を出させていただきました。「社会的包摂」は英語で言うと、「ソーシャル・インクルージョン」と訳されており、一般的な「社会的包摂」の文言を使用すべきではないかと考えています。確かに、文化庁の資料などを見ますと「社会包摂」を使用していますが、非常に狭い範囲で使われているだけであると認識していますので、ご再考いただければと思います。</p>
窪田課長	<p>「一人ひとり」の表記については、公用文での一般的な表記として用いましたが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育大綱ということも踏まえ、文部科学省が推奨している「一人一人」に修正させていただきました。どちらを採用するか、教育委員で少し議論していただきたいと思います。</p> <p>一方、「社会包摂」についてですが、「社会的包摂」は、社会的に弱い立場の人を含め、地域の一員として支え合う福祉的な考え方であるのに対し、「社会包摂」は、文化庁の資料で人々の違いを尊重して受け入れる社会を目指すことが示されており、新市民会館など文化の分野であるこちらの項目では、文化庁が表現する「社会包摂」とさせていただきます。</p>
福田委員	<p>「一人一人」の表記については、「一人ひとり」とした意図をお聞きしたくご意見させていただきました。文部科学省の推奨する表記に大綱の文言を合わせていると、全体に影響が及んでくると考えられます。先ほどの徳永委員のご意見をお聞きしますと、「一人ひとり」でも良いのではないかと感じました。</p> <p>また、施策の方向性 9 の「個別最適な学びの実現を目指す」については、新学習指導要領では、個別最適な学びと協働的な学びの両輪により取り組んでいます。その一方が急に出てきたことから、基本目標 II の全体で考えますと少し違和感を覚え、ご意見させていただきました。</p>
窪田課長	<p>施策の方向性 9 については、GIGA スクール構想をはじめとする文部科学省などの文献を見ていく中で、「個別最適な学びの実現を目指す」ことが今後の学校の在り方の一つとして、この文言をどこかに表現しようと考えた結果、ICT 教育や少人数学級といった教育環境を記載しているこちらの項目に追加させていただきました。</p> <p>文面的に表現が不安定になるようでしたら、「個別最適な学びの実現を目指す」の文言を削除したいと思いますので、ご意見をお願いします。</p>
松岡委員	<p>個別最適な学びについては、子どもにとって何が最適な学びなのか個々に違ってくると思います。子どもにとって最適な学びというのは、個別でやるだけではなく、協働的な場面においても発揮されなければならないものであると感じました。</p>
窪田課長	<p>いただいたご意見を踏まえ、「個別最適な学びの実現を目指す」の文言を削除してもよろしいでしょうか。</p>

松岡委員	<p>子どもの最適な学びに係る文言は残しても良いと思っておりますが、このままの文章ですと協働的な学びがなく、個別最適な学びにのみフォーカスされると思います。すぐに文章は思いつきませんが、その子にとって最適な学びという表現がどこかにあった方が良いと思いますし、削除してしまうとそれに係る文言がなくなり、少しもったいないとも感じます。</p>
窪田課長	<p>福田委員のご意見と合わせ事務局で検討させていただきたいと思っております。この件について、教育部から何かご意見はありますか。</p>
菅課長	<p>施策の方向性9については、学校施設や環境整備のことを主に記載しているので、文章の最後に個別最適な学びがくると落ち着きが悪い印象を受けるなら、施策の方向性9、10あたりに松岡委員のご意見をまとめていく方向で見直していけば良いと思います。</p>
窪田課長	<p>教育部とも協議しながら表現について検討し、次回の総合教育会議でお示しさせていただきます。</p>
松永市長	<p>「一人一人」と「一人ひとり」の表記はどちらにしますか。</p>
窪田課長	<p>福田委員のご意見を踏まえ、「一人ひとり」と表現させていただきたいと思っております。</p>
金丸教育長	<p>施策の方向性8について、「コミュニティ・スクールの取組」と追記をお願いしましたが、文の最後にも取り組むと同じ表現がありました。このことから、文の最後を「に取り組む」から「を目指す」に修正していただきたいと思います。</p>
窪田課長	<p>そのように修正いたします。</p>
徳永委員	<p>「令和3年度丸亀の教育」は、教育大綱をもとに作られていると思っておりますが、この中では「一人一人」と表記されています。今回の見直しで「一人ひとり」に表記が修正されるのであれば、「丸亀の教育」もそれに合わせて作る方が良いと思っておりますので、令和4年度版への対応をよろしく申し上げます。</p>
松岡委員	<p>施策の方向性2に「人を大切にする」とありますが、「自分を大切にする子ども」の文言を加えてはどうかと思います。自分が存在してもいいと思えていない子どもにとって、学校・家庭・地域で居場所がない場合、精神的に安全でも安心でもない環境となります。自分を大切にする子どもを育てるということは、今進めようとしている教育の基礎になるのではないかと考えています。</p>
窪田課長	<p>表現を検討し、次回の総合教育会議でお示しさせていただきます。</p>

松永市長	その他、委員の皆様や事務局より何かご意見等ございますか。
窪田課長	<p>先般開催された令和2年度決算特別委員会において議員より、議事録だけではなく会議資料も公表してはどうかとのご意見をいただきました。</p> <p>現在、総合教育会議の議事録については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の第1条の4第7項に定められている、議事録の作成と公表に係る努力義務に従い、市ホームページで議事録を公表してまいりましたが、会議資料は添付していません。本市としては、総合教育会議が公開を原則に開催されていることなどを踏まえ、基本的に会議資料も公表してまいりたいと考えていますがよろしいでしょうか。</p>
教育委員	<了承>
松永市長	<p>それでは、本日の会議はこれで終了したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>